

グローバル人材育成推進事業

Project for Promotion of Global Human Resource Development

Type B

京都産業大学（学部入学定員：2,760人）

[取組学部: 外国語学部(430人)、理学部(80人)、コンピュータ理工学部(135人)、総合生命科学部(115人)]

【構想の目的・育成するグローバル人材像】

「若者の内向き志向のみならず、理数離れが日本の世界的競争力の低下に拍車をかけているのではないか」というのが、本取組の問題意識である。そのため、本構想では、「グローバル社会で活躍する理系産業人」を養成することを目指す。

【構想の概要】

本取組は、8学部からなる一拠点総合大学という本学の特長を生かした、建学の精神の具現化でもある。科学的マインドを追求する理系3学部(理学部・コンピュータ理工学部・総合生命科学部)と語学学習を追求する外国語学部の4つの学部がカリキュラムの共同開発を行うことで、「標準的学生をグローバル社会で活躍する理系産業人に育成する」ことを目指す。

■ 教育課程の国際通用性の向上

○ 教育課程の国際通用性の向上のための取組

平成25年度より全学共通英語プログラムを4単位から8単位に倍増、4層からなる英語力向上プログラムを設け、習熟度別クラス編成・発信能力重視・TOEIC受験・CALL(ICT)活用プログラムを段階的にスタートさせていく。主体性ある学生、チャレンジ精神を養成する科目においても、既存の日本文化研究所、世界問題研究所を中心に科目開発を行う。また、学生目線に立った体系的カリキュラムを構築するため科目ナンバリングを語学科目からスタートし、全開講科目のナンバリングを段階的にやっていく。

○ 戦略的な国内外への教育情報の発信

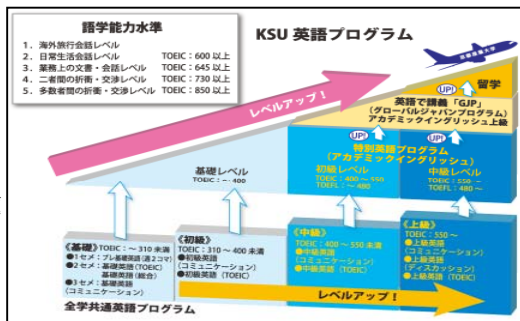
教育情報の公開を視野に入れ、本学のWebページでの発表はもとより、シンポジウム、フォーラムを開催し、広く国内外に発信する。また、大学コンソーシアム京都のシステムを利用して、一般への公開も促進し、併せて大学マネジメントや教学改革を、データに基づいて分析するための基盤整備も、これらの情報公開を利用しながら整備していく。

○ 事務体制のグローバル化

学長のリーダーシップをより発揮できる学内組織を立ち上げ、その下で規程の英語化など喫緊の課題解決に取り組む。また、修士号を目指す職員には、授業料を大学が全額負担し、職員の「問題発見・問題解決能力」を高めていく。

○ グローバル産業人育成汎用モデルの拡大（全学部）

理系3学部を、人文・社会科学系の学部にも拡大し、全部局の協力体制により大学のグローバル化を推進し、新たな産業人モデルを完成させる。グローバル産業人育成は、本学の建学の精神の具現化であり、継続して実施していく。さらに、ポートフォリオや教職員・専門職員らによるサポートを重視し、経過処置や、対象方法を記録し、データによる学生支援に生かしていく。



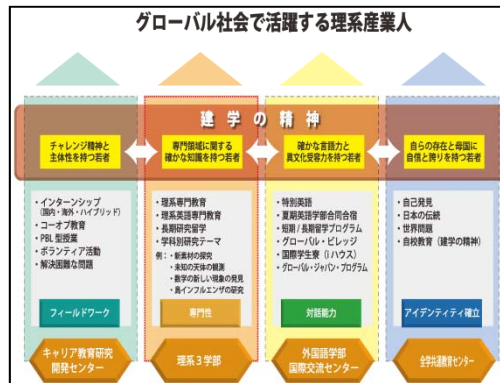
■ グローバル人材として求められる能力の育成

○ 人材像を構成する4つの要素

第一に「チャレンジ精神と主体性を持つ若者」、第二に「専門領域に関する確かな知識を持つ若者」、第三に「確かな語学力と異文化受容力を持つ若者」、第四に「自らの存在と母国に自信と誇りを持つ若者」である。本学では、真のグローバル人材とは、自己理解の深化と自己効力感・肯定感を併せて高められる人材と規定している。それを教育・研究の面から推進する。その一つに、全学共通教育科目群の中では、近現代史を学ぶ「近代日本と世界」、日本文化を学ぶ「日本の年中行事」といった科目が充実、これに新しい、英語能力向上プログラムを合せた科目群によって、グローバル人材の育成を図っていく。

○ 同窓会と連携した産学協働教育

日本の企業行動からアジア諸国とのつながりが圧倒的に高まっている。本取組では、育成すべき人材像に掲げた「チャレンジ精神と主体性を持つ若者」を育てるために、アジア諸国を対象とした産学協働教育に着目し、その開発に当たっては、「同窓会組織との連携」を進めていく。



■ 語学力を向上させるための入学時から卒業時までの一体的な取組

○ 入試における中等教育段階までの外国語力・留学経験等の適切な評価

AO入試(外国語学部・文化学部)では、留学経験や在外経験、TOEFL等の語学力向上を含め、志望する学科の言語が使われている国・地域に関するこれまでの学習成果を報告書にまとめ、面接で発表させ、評価している。

○ 効果的な語学教育及び教育体制（データに基づいた教育改善の確立）

平成25年度からは、必修英語の修得単位数を倍増する。また、客観テストであるTOEICの受験を3回義務付け、学習成果を可視化することで、「経験と勘に基づいた教育改善」から「データに基づいた教育改善」の転換を図る。KSU英語プログラムにより、ボトムアップとトップアップの両方を実現するプログラムを構築する。

■ 教員のグローバル教育力の向上

○ 教育体制のグローバル化（グローバル・ジャパン・プログラムの充実）

「日本の文化、歴史、経済などを英語で学ぶ少人数授業(グローバル・ジャパン・プログラム)」に関する全学共通科目の充実を図り、「全授業数」に対する「外国語による授業数」の割合を増加させていく。

さらに留学生との混在による授業の実施により、学生間交流による異文化交流も促進され、日本人学生による異文化受容力強化にもつながっていく。

○ グローバル教育力向上のための取組

外国人教員比率の向上や外国語における授業の実施率の中間目標を立て、大学全体のグローバル化体制につなげていく。このプログラムにおいては、本学が先進的な取組とし「産学協働教育」に焦点を合わせ、「確かな技術を持つローカル企業のグローバル化に貢献する志」を育成することが目的である。

■ 日本人学生の留学を促進するための環境整備

○ 動機付けや留学を促進するための取組

短期留学について、新設のグローバル・サイエンス・コースでは選択必修、グローバル・キャリア・コースでは必修とするカリキュラムを検討する。また、長・短期語学研修などを対象とした奨学金を、大学の経常経費で創設し、原則一人15万円を上限とした奨学金基金を、平成28年度に向けて4,500万円まで積み上げていく。

○ 留学中から帰国後にわたるサポート体制

留学経験者のうち、就職を希望する者に対し、進路センターから就職情報をメールにて送信するなど就職活動を支援し、かつ、不測の事態に迅速な対応をとれるよう「海外留学危機管理体制」を整備している。また、国際的な産学協働教育の提携先114事業所との個別マッチングを行い、留学経験や語学力が活かせる企業と学生を結びつける。

〈コラボレーション概念図〉



卒業・修了時に学生が修得すべき具体的能力

大学4年間の教育成果の公約ともいえるディプロマ・ポリシーでは、本学の卒業生が修得すべき学士力を、建学の精神をふまへ「知識」「汎用的技能」「態度・志向性」の3分野に分け具体的に示している。【知識】①人間・文化・社会・自然について幅広く豊かな知識を有している。②人間科学、社会科学、自然科学のいずれかの専門分野について体系的知識を有している。③学際的分野における知識を有している。④社会人として職業に携わるための基礎知識を有している。【汎用的技能】①学問的方法の基礎を修得している。②論理的に思考し判断することができる。③問題に対する解決策の提案をおこなうことができる。④新たなものを創造することができる。⑤考えを適切に表現することができる。⑥国際的なコミュニケーション能力を修得している。【態度・志向性】①日本文化への深い理解を有している。②国際社会における人類の平和と幸福に寄与する気概を有している。③自分の頭で考え、行動することができる。④倫理的態度を身につけている。⑤社会的義務を果たす意欲を有している。⑥生命を尊び、慈しむ気持ちを有している。以上が修得すべき能力である。

本構想において実現する達成目標

全学		2011	2012	2013	2014	2015	2016	
外国語カスタンダードを満たす学生数				37人	55人	72人	95人	
うち海外留学未経験者数 (A)				37人	55人	72人	95人	
海外留学経験者数(B)		209人	238人	257人	282人	325人	359人	
卒業[予定]者数(C)		621人	759人	826人	795人	837人	837人	
比率((A+B)/C)				35.6%	42.4%	47.4%	54.2%	
外国語学部	卒業時の外国語カスタンダード	TOEIC730		15人(15)	25人(25)	35人(35)	50人(50)	
	海外留学経験者数	206人	235人	245人	269人	309人	343人	
	3カ月未満	3カ月未満	113人	116人	121人	133人	160人	180人
		3カ月～1年	93人	119人	124人	136人	149人	163人
		1年超	0人	0人	0人	0人	0人	0人
卒業[予定]者数		439人	472人	491人	460人	460人	460人	
理学部	卒業時の外国語カスタンダード	TOEIC600		5人(5)	7人(7)	8人(8)	11人(11)	
	海外留学経験者数	2人	1人	3人	3人	4人	4人	
	3カ月未満	3カ月未満	2人	1人	2人	2人	3人	3人
		3カ月～1年	0人	0人	1人	1人	1人	1人
		1年超	0人	0人	0人	0人	0人	0人
卒業[予定]者数		90人	121人	99人	81人	104人	104人	
コンピュータ理工学部	卒業時の外国語カスタンダード	TOEIC600		7人(7)	9人(9)	12人(12)	14人(14)	
	海外留学経験者数	1人	2人	4人	4人	5人	5人	
	3カ月未満	3カ月未満	1人	2人	3人	3人	4人	4人
		3カ月～1年	0人	0人	1人	1人	1人	1人
		1年超	0人	0人	0人	0人	0人	0人
卒業[予定]者数		92人	166人	120人	141人	138人	138人	
総合生命科学部	卒業時の外国語カスタンダード	TOEIC645		10人(10)	14人(14)	17人(17)	20人(20)	
	海外留学経験者数	0人	0人	5人	6人	7人	7人	
	3カ月未満	3カ月未満	0人	0人	4人	5人	6人	6人
		3カ月～1年	0人	0人	1人	1人	1人	1人
		1年超	0人	0人	0人	0人	0人	0人
卒業[予定]者数		0人	0人	116人	113人	135人	135人	

※1)「外国語カスタンダードを満たす学生数」の学部ごとの記入欄の()内は、外国語カスタンダードを満たす学生数のうち「単位取得を伴う海外留学未経験」の学生数を示す。

※2)上記の「海外留学経験者数」は、いずれも単位取得を伴う海外留学経験者数であり、単位取得を伴わない海外留学経験者は含まない。